

事業所名

カラコロ

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

9

月

1

日

法人（事業所）理念	ともに考え、ともに楽しみ、ともに歩む。常に利用児童生徒と保護者を含むその環境に寄り添い、学校と家庭の次となる第三の居場所として安心安全に活動を行う。		
支援方針	利用児童生徒が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、事業所において適切かつ効果的な指導訓練を行うものとする。心身の発達に気になる児童生徒に障害の状態やニーズに応じた合理的配慮を行いつつ、日常生活や集団生活に必要な知識や技術、自立に向けて必要なスキルが身に付くように療育を行う。また、地域や家庭との結びつきを重視し、関係機関との連携による支援に努める。		
営業時間	8 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康な生活を送ることを目標とした取り組みを行います。 ・体温測定、体調観察。屋外活動。静と動を合わせたメリハリある活動。おやつや昼食を通しての食育・家事体験。 ・トイレトレーニング、着脱、手洗い、うがい、食事、基本的な生活スキルの獲得支援。	
	運動・感覚	運動と感覚を向上させることを目標とした取り組みを行います。 ・音楽に合わせて身体を動かす遊びや運動。指先遊び、ボール遊び、感覚遊び、屋外活動	
	認知・行動	認知したものを行動につなげるための取り組みを行います。 ・始まりの会（日付・曜日・天気・活動内容の提示）ブロック遊び。ねんどやスライム遊び。小集団ゲーム遊び。トランプ遊び。	
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用。 ・あいさつ、始まりの会で今日の気分、気持ちの言語表出。言葉を覚えて声に出す。 ・文字、記号、絵カード、指さし、身振り、サインなどでコミュニケーション手段を図っていく支援。 ・パソコン、タブレット、電卓等の電子機器を使つての効率よいコミュニケーション手段の支援。	
	人間関係社会性	他者との関わりの形成、自己理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加。 ・見て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び、の組み合わせ。一人遊び、並行遊び、連合遊びなど遊びの組み合わせ。役割分担のある遊びなど共同遊び。 ・公共施設利用等を通して、様々な人と触れ合う。良いことを積極的に伝える。	
家族支援	保護者の困りごとや悩みをことの軽減。 送迎時に、保護者への聞き取りをしてその場での助言・援助。保護者との担当者会議等の懇談会、個別面談。関係機関との連携による支援。	移行支援	家族への情報提供。他施設との利用日数や時間等の調整。同年代の子どもの仲間作り。
地域支援・地域連携	担当者会議への参加。他施設との協力。教育機関の関係者との連携。地域支援の体制構築のための会議への出席。	職員の質の向上	各種委員会を開催（事故発生防止委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、感染症予防委員会）内部、外部研修を通して利用者の生活の向上や職員の質の向上を図る
主な行事等	初詣、節分、ひな祭り、お花見散歩、ピクニック、運動会、音楽会、水遊び、クリスマス会、お誕生会、避難訓練、		